

Universal Design Matrix

対象	セミナー	■概要: ・受講生定員30名 ・10:00-17:00 ・午前は1コマ1時間の講演2つ ・午後は1時間の講演+ワークショップ	■条件: ・大阪市内で開催。会場は、JRまたは地下鉄駅に近いところが望ましい。 ・広報手段は未定。様々な手段を検討可能。
----	------	---	---

商品の3側面	UD原則	基本タスク	個別タスク	ユーザグループ(視覚機能・聴覚機能・運動機能・体格・認知機能・その他の機能・デモグラフィック・文化・ユーザ以外)				
				特別な配慮を必要としないユーザ	視覚機能に配慮すべきユーザ	聴覚機能に配慮すべきユーザ	動作、器用さ、筋力に配慮すべきユーザ	
操作性 使えること	1.情報入手が容易であること 2.分かりやすいこと 3.心身の負担が小さいこと 4.安全であること 5.メンテナンスを配慮すること	準備 ↓ 作業開始 ↓ 情報入手 ↕ 認知・判断・理解 ↕ 操作 ↓ 作業完了 ↓ フォロー・メンテナンス	募集		●視覚に頼らないフォーマットによる募集 (メール、アクセシブルなweb、ラジオ、テレビなど)	●聴覚に頼らないフォーマットによる募集 (メール、web、印刷物など)	●車椅子でのアクセシビリティの情報がある	
			受講案内	●事前のアクセシビリティ・ニーズの確認がある ●駐車場の情報がある	●視覚に頼らないフォーマットによる案内 (電話、メール、アクセシブルなweb、ラージプリント、点字など)	●聴覚に頼らないフォーマットによる案内 (メール、web、印刷物など)		
			集合 *会場周辺を検討	●初めて行く場合でも1人でたどり着ける案内 ●会場案内を持参し忘れても連絡を取れる	●視覚に頼らず1人でたどり着ける案内		●車椅子でアクセスできる	
			(会場内)	講演	●わかりやすい話し方 ●わかりやすいプレゼンツール ●わかりやすい手元資料	●「あれ」「それ」無し ●大きな文字 ●視覚だけに頼らないプレゼン	●要約筆記、テキスト表示がある ●手話通訳がある ●聴覚だけに頼らないプレゼン	●ページを捲らない場合への対応がある
				施設利用	●トイレの場所がわかりやすい ●休憩時間が十分ある ●分煙が確実にされている ●飲み物を容易に摂れる	●視覚に頼らずアクセスできる施設案内がある (触地図、音声案内など)	●聴覚だけに頼らないアナウンス	●アクセシブルなトイレ ●車椅子で利用できる
				昼食	●食材のアレルギ-情報がある ●食事の場所が会場と離れすぎない ●気分転換ができる	●メニューや配置がわかる		●車椅子で利用しやすい食事テーブル ●食べやすい盛り付け
				ワークショップ		●参加者それぞれの居場所がわかる ●付箋紙に書き込む作業では、サポートがある ●KJ法などのマップ全体像がわかる	●同時に発言があってもそれぞれの内容がわかる	●作業に伴って場所の移動が必要でも大丈夫
			交流	●ゆったりと落ち着いて交流ができる	●視覚に頼らずお互いを知ることができる (点字名刺、話す前に名前を言うなど)	●筆談の道具がある		
			帰路	●タクシーの手配を頼める				
			フォロー	●後日の情報交換が容易にできる	●視覚に頼らない講演録 (音声、テキストデータなど)	●聴覚に頼らない講演録 (テキストデータ、プリントなど)		
有用性 役に立つこと	1.妥当な価格 2.エコロジー 3.機能 4.性能		●セミナーのテーマとその後の参加者の活動に必要な、 ・知識を得られる ・新しい手法を得られる ・経験(体験)を得られる ・ネットワーキング(交流)ができる					
魅力 ひきつけること	1.美しい 2.使うのが楽しい 3.所有していたい		●アクセシビリティについて問題がないために、意欲的、積極的に参加したくなる ●スティグマの面で嫌な思いをしないために、意欲的、積極的に参加したくなる					